

知事先頭に、企業・観光・果物をPR



富士の国やまなしフルーツ・フェアでテープカットする横内知事とJA山梨中央会の廣瀬会長(左から2人目)セントラルフードリテール社のブーバット副会長(右端)、来賓の在タイ日本国大使館の佐藤大使(中央)ら

8月5日～9日、好調な経済発展が続くタイ王国を横内知事ら二行が訪問。県内中小企業のビジネス展開の支援や本県へのさらなる観光客誘致、富裕層をターゲットとするモモ・ブドウなどの県産果実輸出拡大に向けて、精力的にトップセールスを行いました。



県産果実の輸出拡大

台湾・香港向けが9割を占める県産果実輸出の次なるターゲットがタイ。タイでは、品質の高い日本の果実の人気が高く、今回は高級スーパーで「富士の国やまなしフルーツ・フェア」を開催した。また、県・現地小売業者・輸出業者の三者では初となる輸出促進に関する連携覚書を締結。一層の輸出拡大を目指していく。

富士の国やまなしフルーツ・フェア

富裕層に人気の高い高級スーパー「セントラルフードホール」で開催。モモ・ブドウに関心を示すタイ人消費者に県産フルーツの品質の高さをPRした。



県産果実輸出促進に関する三者連携覚書

スーパー200店舗以上を展開するセントラルフードリテール社、輸出業者のIPM西本(東京)と県とが締結。タイのバイヤーらの県内視察や果実生産者とのマッチング、輸出拡大に向けたPRに連携して取り組んでいく。

左からセントラルフードリテール社のブーバット副会長、横内知事、IPM西本の岡添常務



**中小企業の
ビジネス
展開支援**

タイには自動車を中心とした製造業が集積し、日本企業も多数進出している。県はこのタイを県内中小企業の海外展開の適地と定め、今回で3年連続となる経済ミッション(使節団)を派遣した。さらに、山梨県タイ・ビジネスサポートデスクの設置やタイの中小企業との商談会も実施した。



タイ下請産業振興協会会員企業との商談会

同協会とやまなし産業支援機構が昨年締結した連携協定に基づいて実施した。県内6社・タイ7社が参加。11月には、「山梨テクノICTメッセ2014」へタイ企業が出展を予定している。



タイの慣習に倣った仏教式の開式式典

**山梨県タイ・ビジネスサポート
デスク開設式**

県とタイ王国工業省が昨年締結した経済連携促進に向けた覚書を受け、県内企業の販路拡大や現地進出を支援するために設置。事務所のネームプレート掲げ、横内知事とジェットロバンコク事務所の保住所長(左)らが開設を祝った。



タイ政府・企業関係者らとの交流会

タイ王国工業省のアッチャッカー・シブンルアン局長(右から2人目)ら参加者と交流を深めた。

**さらなる
観光客誘致**

タイから山梨県への観光客は、富士山世界遺産登録、短期観光ビザ免除、県の継続的な誘客活動などによって、急激に伸びている。今回は、山梨県の認知度アップによるさらなる観光客誘致を目指して、日系企業と共同の「富士山PRキャンペーン」や、現地旅行会社を招いた観光商談会を実施。また、タイの大学生や現地で働く日本人と意見交換し、誘客のヒントを得た。



**富士の国やまなし
観光商談会**

横内知事も山梨の魅力をPR。現地旅行会社16社、県内8事業者が参加し、山梨を訪れる旅行商品の開発に期待がかかる。



キャンペーンではローソンで買い物をすると富士山旅行、ヤマハのバイクなどが当たる



キャンペーン開始イベントには、50社ものマスコミが集まった



観光客誘致に向けた意見交換

スィーパトナム大学の学生やタイで働く日本人10人が参加した。



「富士山PRキャンペーン」(11月15日まで)がスタート

タイのローソン(サハ・ローソン)、タイ・ヤマハ・モーター、HISツアーズの3社と共同で実施。日本の自治体と日系企業が連携して、こうしたキャンペーンを実施するのは初の試み。

【問い合わせ先】 **果実関係** 農産物販売戦略室 TEL 055-223-1603 FAX 055-223-1604
企業関係 成長産業創造課 TEL 055-223-1565 FAX 055-223-1534
観光関係 国際交流課 TEL 055-223-1620 FAX 055-223-1438